

令和5年度 再評価調書

事業名	耕地地すべり防止事業	地区・路線名	三好山城地区
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は三好市山城町にある寺野、茂地下、瀬貝、小川谷、山城引地の5つの地すべり防止区域により構成されている。 地質については、主として三波川帯に属する結晶片岩を基盤とし、その上部に不安定な崩積土層が堆積している。豪雨時、台風時には、表流水の浸透及び地下水の急激な上昇が生じ、斜面内部の間隙水圧の上昇により、地すべり抵抗力の低下を生じている。 当地区には、農地、農業用施設、人家や国道、市道等の公共施設が存在し、社会的重要度も高い。よって、国土の保全と民生の安定に資することを目的に地すべり防止工事を行い、農業基盤及び生活基盤の維持、保全を図るものである。</p>		
	<p>(事業内容) 受益面積：258.0ha 受益戸数：46戸 主要工事：排水ボーリング 8,835m 排水路 380m 総事業費：562,000千円（国50%、県50%） 工期：令和元年度～令和9年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況) 令和4年度までに全8ブロック中、抑制工を1ブロック、その他ブロックで調査観測を実施している。 令和5年度末の事業費進捗率は、34.7%である。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況) 該当なし</p>		
評価目	<p>(社会経済情勢の変化) 地区の農業従事者の高齢化は進んでおり、営農状況は厳しいものの、山間地における畑作、茶園を中心とした営農を維持している。また近年の豪雨等により土砂災害などに対する地域の防災意識も高まっており、生産基盤・生活基盤の保全への要望は強まっている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 該当なし</p>		
評価	<p>(費用対効果の分析) 地すべり活動が顕著な寺野工区において、優先的に排水ボーリング工事を実施した結果、地下水位上昇の抑制が確認され、地すべりの危険性が軽減されている。また、すべり面より上部に地下水の上昇が確認された小川谷、山城引地などの他工区についても、引き続き、対策工事に着手し、地すべりの誘因を除去し、事業効果の発現を図る。</p> <p>$B/C = \text{総便益（被害軽減効果）} / \text{総費用} = 2.52$</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 三好市及び地すべりブロック内の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。</p>		
	<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>		